

第1学年国語科学習指導案

場所 1年1組・2組 教室

授業者 深澤結香・戸谷 恵

研究主題 主体的にかかわり合い学び合う児童の育成

～国語科における説明的な文章の指導を通して～

- 1 単元名 『しごと』と『つくり』にきをつけてよんで、『ゆめのじどう車ずかん』をつくろう
教材名 「じどう車くらべ」、「じどう車ずかんをつくろう」 (光村図書)

2 単元の目標

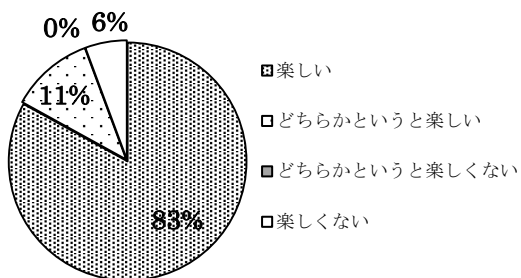
- 言葉には、物事の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることについて気付くことができる。(知識及び技能)
- 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。(思考力、判断力、表現力等)
- 自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。(思考力、判断力、表現力等)
- 言葉がもつよさを感じ取るとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)

3 単元の評価規準

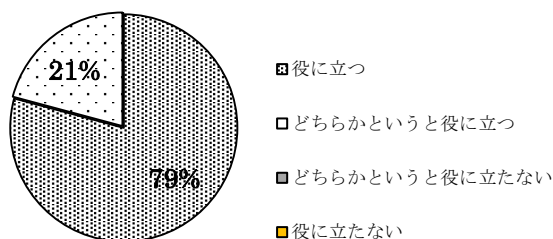
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	○言葉には、物事の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。 (1)ア)	○「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。(Cア) ○「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。(Bイ)	○言葉がもつよさを感じ、事柄の順序などを考えながら、分かったことを友達に伝えようとしている。

4 説明文意識調査

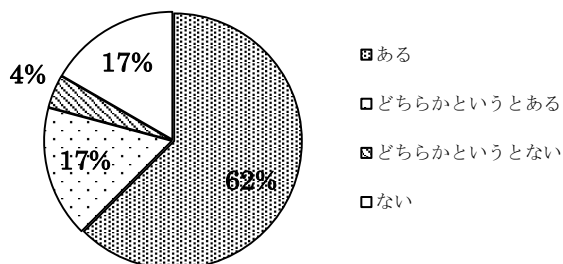
①説明文は楽しいですか。



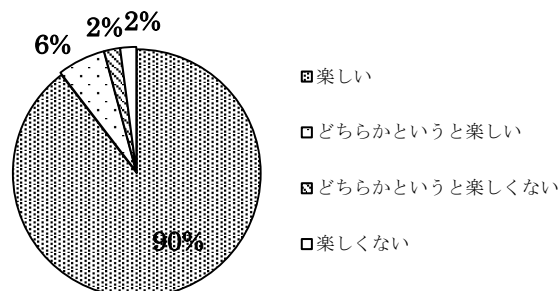
②説明文は役に立ちますか。



③説明文で学んだことを、他に生かしたことがありますか。



④調べるのは楽しいですか。



5 児童の実態

第1学年の児童は、ペアやグループ活動に楽しんで取り組んでいる。国語科の学習や説明文の授業に対しても肯定的な意見をもつ児童が8割以上と多くいる。一方で、友達に自分の考えを伝えることや友達の見解を最後まで聴くことが難しい児童も多く、個別に支援をしている。

これまでの国語科の学習では、つぼみクイズや音読劇発表会など、児童が楽しめる単元のゴールを設定することで「たのしそう。」「やってみよう。」と、意欲的に取り組むことができた。

本単元でも、「ゆめのじどう車ずかん」を作るという単元のゴールを設定して児童の意欲を喚起させ、「ずかんを作るために『じどう車くらべ』を読んでみよう。」とゴールを意識しながら学習に取り組ませたい。

読むことについては、初見の文章をすらすらと読める児童がいる一方、言葉のまとまりが分からず拾い読みで内容を理解するまでに至っていない児童もおり、個人差が大きい。ペアや小グループで学び合うことで、言葉を具体的に理解することにつなげていきたい。

6 単元について

「じどう車くらべ」は、「バスやじょうよう車」「トラック」「クレーン車」の三つの自動車について取り上げられており、それぞれの自動車と同じ文章構成で説明されている。「しごと」と二つの「つくり」という事柄の順序をたどって読むことで、文章全体に書かれていることをとらえることができる。学習指導要領「C読むこと」の(ア)「時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。」を中心に進めていく。

本単元では「じどう車くらべ」を「しごと」と「つくり」に着目して読み、「つくり」について読み取ったことを動作化によって確かめる活動を設定した。「じょうぶな うで」や「しっかりした あし」などの言葉を具体的にイメージさせるとともに、「しごと」と「つくり」をつなぐ接続詞「そのために」の役割を理解させたい。

7 研究主題に迫る手だて <学習環境デザインの工夫>

(1) 読む目的を明確にする 【「こと」デザイン】

ゆめのじどう車ずかん

- 児童が「こんなじどう車があったらいいな」と想像して「ゆめのじどう車ずかん」を書き、それらを一冊の「ゆめのじどう車ずかん」にまとめることを単元のゴールとして設定する。図鑑を書くために必要な「しごと」、「つくり」を読み取るという目的を明確にすることで、主体的に学習を進めることができるようにする。

(2) 自分の考えを表現する 【「もの」デザイン】

じどう車ずかん

- 本文から「しごと」、「つくり」を読み取って、理解したことをもとに自分の言葉でずかんに書く。
- 教科書に載っていない自動車で「しごと」に合った「つくり」を複数の選択肢の中から選ぶ活動をする。敢えて関係のないつくりを選択肢の中に入れておく。選択した「つくり」とそれを選択した理由をペアやグループで話し合う。
- 第二次では、自分の想像した「ゆめのじどう車」について「しごと」「つくり」を考え、「じどう車ずかん」にまとめる。これまでのずかんを基にして、「しごと」と「つくり」が「そのために」でつながるように文章を書く。

(3) 読みを深める 【「ひと」デザイン】

小グループでの実験・動作化

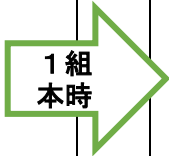
- 4、5人のグループで、「つくり」について書かれていることを実験や動作化で確かめ、言葉を具体的にイメージさせるとともに、接続詞「そのために」について学び合いながら理解させる。

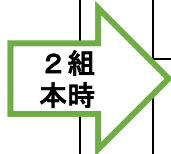
【実験例】

- 「大きな まど」(バスや乗用車)、「タイヤが たくさん ついて います。」(トラック)「じょうぶな うで」「しっかりした あし」(クレーン車)等を実験により確かめさせる。
- 「ひろい にだい」(トラック)、「のびたり うごいたり するように、つくって あります。」(クレーン車)等を動作化により確かめさせる。

8 単元計画（全8時間）

次	時	○主な学習計画	◇支援 ◆評価 ()評価方法
一 次	1	<p>○「はたらく自動車」の歌の動画を視聴し、自動車への興味をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ゆめのじどう車ずかん」を作ることを知り、学習の見通しをもつ。 ・本文を読み、自動車の種類を確かめる。 ・問いの文を確かめる。 	<p>◇「ゆめのじどう車ずかん」の見本を提示し、意欲をもたせる。</p> <p>◆学習の見通しをもち、問いの文を見付けている。 (主・発言、ノート)</p>
	2	<p>○「バスやじょうよう車」について、「しごと」、「つくり」を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「しごと」、「つくり」の意味を明確にする。 ・教科書の「しごと」、「つくり」が書かれている箇所にサイドラインを引く。 (「しごと」は赤、「つくり」は青) ・「つくり」に書かれていることを実験で確かめる。 ・分かったことを「じどう車ずかん」に書く。 	<p>◇「しごと」「つくり」に対応する文とその意味を明確にしておく。</p> <p>◇一斉に確かめながら行うことで、確実にサイドラインが引けるようにする。</p> <p>◇4、5人のグループで実験を行う。</p> <p>◇「しごと」と「つくり」が「そのために」でつながっていることを確かめる。</p> <p>◆言葉には、物事の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。 (知・発言、ワークシート)</p>
	3	○「トラック」「クレーン車」について	◆それぞれの自動車の「しごと」と「つくり」について書かれているところを探して読み、ずかんにまとめている。 (思・発言、ワークシート)
	4	も2時と同様に読み取る。	
	5	<p>○3種類の自動車の「しごと」、「つくり」を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の自動車で「しごと」にあった「つくり」を選ぶ。 (はしご車、きゅうきゅう車、きゅう水車、じよ雪車、テレビ中けい車) 	<p>◇「しごと」に合った「つくり」になっているかという視点をもって読み、理由も考えさせるようにする。</p> <p>◆これまで書いた「じどう車ずかん」をもとに、「しごと」に合った「つくり」を正しく選び、「そのために」でつながる文章を書いている。 (思・発言、ワークシート)</p>





二 次	6	<p>○「じどう車ずかんをつくろう」を読んで、見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none">・どんな自動車があったら楽しいか、友達と話し合う。・「ゆめのじどう車」の「しごと」を考える。	<p>◇「ゆめのじどう車ずかん」の見本を提示し、意欲をもたせる。</p> <p>◇身の回りにある乗り物について思い出すことができるように、絵本などを用意しておく。</p> <p>◆学習の見通しをもち、「ゆめのじどう車」について想像している。</p> <p>(主・発言、ノート)</p>
	7	<p>○自分が想像した自動車について、「しごと」と「つくり」をずかんに書く。</p> <ul style="list-style-type: none">・「つくり」についてペアで話し合う。・「つくり」をずかんに書く。・「しごと」と「つくり」を伝え合う。	<p>◇「しごと」と「つくり」が「そのために」でつながるようにずかんに書かせる。</p> <p>◆自分が想像した自動車について、「しごと」と「つくり」をずかんに書いている。</p> <p>(思・発言、ワークシート)</p> <p>◇自分の書いた文章を声に出して読み、間違いがないかを確認させる。</p>
	8	<p>○友達と作品を読み合う。</p> <ul style="list-style-type: none">・学習を振り返る。	<p>◇どこに気を付けて読み合うか、観点を具体的に示す。</p> <p>◆友達の「ゆめのじどう車ずかん」を読み、よさを伝えている。</p> <p>(主・発言、作品)</p>

9 本時の学習

1組 (4 / 8 第一次の4時間目)

(1) 本時の目標

- 「クレーン車」について「じどう車ずかん」にまとめることを通して、「しごと」と「つくり」のつながりについて考えることができる。(思考力、判断力、表現力等)

(2) 展開

主な学習活動	◇支援 ◆評価 ()評価方法
<p>1 前時の学習を振り返り、本時の学習のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>「クレーン車」の「しごと」と「つくり」を、「じどう車ずかん」に書こう。</p> </div>	<p>◇学習計画表をもとに単元のゴールと本時に学習することを確かめ、学習意欲を高める。</p>
<p>2 「クレーン車」の「しごと」と「つくり」を読み取る。</p> <p>(1) クレーン車のことが書かれている箇所を音読する。</p> <p>(2) 「しごと」、「つくり」が書かれているところにサイドラインを引く。</p> <p>(3) ペアで確認をする。</p> <p>3 「つくり」に書かれていることを確かめる。</p> <p>(1) 「じょうぶな うで」を実験する。 ・重い物を吊り上げるために、丈夫にできている。</p> <p>(2) 「のびたり うごいたり するように」を動作化する。 ・うでを伸ばさないと、高い所の物を吊り上げられない。 ・うでが動くと、物を動かせる。</p> <p>(3) 「しっかりしたあし」をグループで実験する。 ・あしで支えているから、傾かない。</p> <p>4 「じどう車ずかん」にまとめる。</p> <p>(1) サイドラインをもとに、「しごと」と「つくり」を書く。</p> <p>(2) ロイロノートで共有する。</p>	<p>◇前時までの学習を振り返り、「しごと」には「どんなことをするか」、「つくり」には「どんなふうにつくられているか」が書かれていることをおさえる。</p> <p>◇問いの文「どんなしごとをしていますか。」「どんなつくりになっていますか。」を意識しながら音読させる。</p> <p>◇「しごと」は赤、「つくり」は青で色分けをさせる。</p> <p>◇2種類の腕（ストローと割り箸）で物を吊り上げて見せ、腕の様子を比べさせる。(ペア活動)</p> <p>◇自分の腕を伸ばしたり動かしたりすることで、物を移動させる「しごと」もあることに気付かせる。(ペア活動)</p> <p>◇4、5人のグループで、2種類の模型（「しっかりしたあし」の有無）を比べさせる。</p> <p>◇「しごと」は全体で確認しながら書き、「つくり」を個人で考えさせる時間にする。</p> <p>◆「クレーン車」の「しごと」と「つくり」について書かれているところを探して読み、ずかんにまとめようとしている。(思・発言、ワークシート)</p> <p>◇「しごと」と「つくり」が「そのために」でつながっていることを確かめさせる。</p>
<p>5 本時の学習を振り返る。 ・実験をしたら、「じょうぶな うで」は「折れないうで」のことだと分かった。</p> <p>6 次時の活動の見通しをもつ。</p>	<p>◇「わかった!」、「よくかんがえた◎」、「がんばった◎」から選んだマークを書かせる。</p> <p>◇「どんなことが分かったか」、「何を考えたか」、「何を頑張ったか」を考えさせる。</p> <p>◇学習計画表をもとに、次は他の自動車で「しごと」に合った「つくり」を選ぶことを確かめさせる。</p>

2組（ 7 / 8 第二次の2時間目 ）

(1) 本時の目標

○自分が想像した自動車について、「しごと」と「つくり」をずかんに書くことができる。

(思考力、判断力、表現力等)

(2) 展開

主な学習活動	◇支援 ◆評価 ()評価方法
<p>1 前時の学習を振り返り、本時の学習のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> ゆめのじどう車の「つくり」を書こう。 </div>	<p>◇第5時のワークシートを見せ、「しごと」と「つくり」は「そのために」でつながっていることをおさえる。</p>
<p>2 自分で想像した自動車の「しごと」を確認し、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宝石発見車は、山の中から宝石を見付ける仕事だよ。 ・プラネタリウム車は、子供たちにその日の星空を見せる仕事だよ。 <p>3 ゆめのじどう車の「つくり」についてペアで話し合う。</p> <p>4 ゆめのじどう車の「つくり」をずかんに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そのために、宝石を感知するレーダーがついています。 ・そのために、中に星空を映す機械があります。荷台は丸い形になっています。 <p>5 記入した「しごと」と「つくり」を伝え合う。</p>	<p>◇本時は自分で想像したゆめのじどう車の「つくり」について考えて紹介する文を書く学習であることを知らせる。</p> <p>◇「つくり」が思いつかない児童には、友達に聞いたり、友達の意見を参考にしたりするよう言葉掛けをする。</p> <p>◇「つくり」の文末はどうなっていたか、今までの学習を振り返らせる。(～があります。～がついています。～になっています。)</p> <p>◇「つくり」が書けない児童には、絵から想像を膨らませたり、つくり一覧のヒントカードの中から選ばせたりして助言する。</p> <p>◇自分の書いた「つくり」は「しごと」と合っているか確認を促す。</p> <p>◇交流を通して間違いに気付いた児童には、書き直しをするように言葉掛けをする。</p> <p>◆自分が想像した自動車について、「しごと」と「つくり」をずかんに書いている。 (思・発言、ワークシート)</p>
<p>6 本時の学習を振り返る。</p> <p>7 次時の活動の見通しをもつ。</p>	<p>◇「わかった!」、「よくかんがえた◎」、「がんばった◎」から選んだマークを書かせる。</p> <p>◇友達の「ゆめのじどう車ずかん」を読み合うことを伝える。</p>